

「にら」のネダニ類、「ほうれんそう」のケナガコナダニ類防除に!

殺ダニ剤

ネコナカット[®]

フロアブル

ネダニ、
ケナガコナダニの
食害を許さない!



ロビンネダニ



ホウレンソウケナガコナダニ



ネダニ被害
(にら)



ケナガコナダニ被害
(ほうれんそう)



- 🐾 新規系統のネダニ、ケナガコナダニ剤!
- 🐾 ネダニ、ケナガコナダニの脱皮を阻害し、幼若虫に優れた効果!
- 🐾 収穫前日数が短く、使い勝手が良い!
- 🐾 作物への安全性が高く、安心して使える!

®は協友アグリ(株)の登録商標です。



適用害虫と使用方法

2025年9月現在

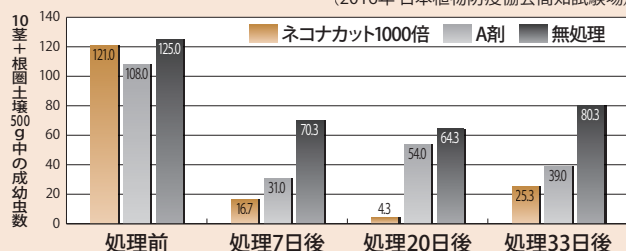
作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトキサゾールを含む農業の総使用回数
にら	ネダニ類	1000倍	3ℓ/㎡	収穫7日前まで	1回	株元灌注	1回
ほうれんそう	ケナガコナダニ類		100～300ℓ/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
ゆり	ネダニ類		—	植付前	1回	30分間種球浸漬	1回



試験事例

にら ネダニ類(ロビンネダニ)に対する効果

(2016年 日本植物防疫協会高知試験場)



作物: にら (品種: ミラクルグリーンベルト) 対象害虫: ネダニ類 (ロビンネダニ)
 発生状況: 多発生 区制・面積: 1区3.6㎡ (1.5×2.4m) 16株3連制 露地栽培
 地上部刈取時期: 2016年4月22日 処理日: 2016年4月28日
 処理方法: 希釈液をジョウロを用いて3ℓ/㎡株元に灌注処理した。
 調査方法: 処理前(4/26)、処理7日後、20日後、33日後に、各区任意に5株の1株当り2茎と根圏土壌合計500mlをサンプリングし、共にツルグレン装置(48時間抽出)に設置し、ネダニ類(幼・若虫、成虫別)を調査。

ほうれんそう ホウレンソウケナガコナダニに対する効果

(2016年 岩手県農業研究センター県北農業研究所)



作物: ほうれんそう (品種: ハンター) 対象害虫: ホウレンソウケナガコナダニ
 発生状況: 少発生 区制・面積: 1区5.7㎡ (1.5×3.8m) 3連制 施設栽培 (ビニルハウス)
 処理日: 2016年9月15日(2葉期)、21日(4葉期)の2回
 処理方法: 希釈液を肩掛式噴霧器を用いて300ℓ/10a処理した。
 調査方法: 10月12日(収穫時)に、各区50株の被害程度別の株数を計数。
 A: 被害無し(指数0)、B: 奇形葉2枚以内褐変無し(0.5)、C: 奇形葉3～4枚褐変無し(3)、D: 中心葉が褐変し芯止まり(5) 被害度=Σ(被害程度別株数×指数)/(調査株数×5)×100



防除のポイント

■「にら」の防除ポイント

- ・収穫前日数が短いため、生育が旺盛な時期にも安心してお使いいただけます。
- ・異なる系統の薬剤とのローテーション防除を行ってください。

■「ほうれんそう」の防除ポイント

- ・薬液が圃場の隅々まで十分かかるよう、200～300ℓ/10aの散布がおすすめです。
- ・ケナガコナダニ類が表層土へ移動する本葉2葉期での散布をおすすめします。

□ネダニ類 防除体系(例)



□ケナガコナダニ類 防除体系(例)



※「にら」「ほうれんそう」の防除タイミングはあくまで目安です。地域に合わせた防除を行ってください。

使用上の注意事項

〈薬効・薬害等の注意〉

- 使用前に必ず容器をよく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- ボルドー液との混用は避けてください。(効果)
- 本剤は植物体への浸透移行性がないので、散布の際はかけ残しのないように葉の裏表に十分に散布してください。
- 本剤は殺卵、殺幼虫力は強いが、殺成虫力が弱く遅効的であるため、誤ってまき直しなどしないように注意してください。
- 蜜に対して影響があるので、周辺の蜜葉にはかからないようにしてください。

- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせで調節してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 〈安全使用上の注意〉
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 種球浸漬の際は不浸透性手袋などを着用してください
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 浸漬後の薬剤は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 〈貯蔵上の注意事項〉
- 直射日光を避け、なるべく低温な場所に密封して保管してください。

※本資料の記載内容は2025年9月現在の登録内容に基づいています。

★使用前にはラベルをよく読んでください。★ラベルの記載以外には使用しないでください。★本剤は小児の手の届くところには置かないでください。★空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。



JAグループ
農 協 | 全 農 | 経 済 連
登録 登録商標 第4702318号



協友アグリ株式会社
東京都中央区日本橋小網町6-1
https://www.kyoyu-agri.co.jp